

令和4年度

事業計画書

令和4年4月 1日から
令和5年3月31日まで

本部

特別養護老人ホームゆめの里和田
ゆめの里和田デイサービスセンター
ゆめの里和田訪問看護ステーション
ゆめの里和田福祉相談センター
ゆめの里新村宅老所
特別養護老人ホームゆめの里朝日
ゆめの里朝日宅老所
ゆめの里ヘルパーステーション
養護老人ホーム松本市立松風園
ゆめの里 入山辺
河西部西地域包括支援センター
特別養護老人ホームゆめの里今井
ゆめの里今井福祉相談センター

社会福祉法人松本ハイランド

社会福祉法人松本ハイランド経営理念

1. わたしたちは、地域とともに歩み、支え合い、助け合う地域福祉をめざします。
1. わたしたちは、一人ひとりの尊厳を大切に、自分らしいくらしの実現に向け支援します。
1. わたしたちは、笑顔と思いやりの心、責任と誇りを持ちより高い目標に向かい、惜しみない努力をします。

基 本 方 針

近年、毎年繰り返し発生している大規模災害への備えに加えて、発生から2年余り経過する新型コロナウイルス感染症も一向に収束の目途が見えません。コロナ禍ではあっても高齢化と少子化による人口減少、労働力不足や社会保障制度の不安定化など地域社会全体に将来に対する不安感は増し続けています。数年先には「高齢者の急増」から「現役世代の急減」へと局面が変化するとされる中で、給付と負担の見直しなどによる社会保障の持続的可能性の確保に向け、2040年代に向けた改革議論も合わせながら政策展開をどのように進めるのかが大きな課題となっています。

JA 松本ハイランドの組合員の願いを実現する形で創設された当法人は、これまで「助けてと言える」協同組合の相互扶助の精神を大きな指針として運営をして参りました。今、一番問われているのは「一人一人が人間らしく暮らすため何をすべきか」です。支える側支えられる側という従来の関係を超えて人と人、人と社会がつながり、生きがいや役割を持ち助け合いながら暮らしていくことができ、地域の中で起きる様々な「困りごと」をともに解決することのできる包摂的な地域づくりに向けて私たちの役割はますます重要となっています。

昨年度から松本市・朝日村両行政の「第8期高齢者福祉計画」がスタートしています。これに沿って、令和4年度から3年間の社会福祉法人松本ハイランド第6次中期経営計画を策定しました。今年度はその初年度に当たります。

第6次中期経営計画の初年度となる今年度は、介護報酬改定の骨子である「感染症や災害への対応力強化」「地域包括ケアシステムの推進」「自立支援・重度化防止の取組の推進」「介護人材の確保・介護現場の革新」「制度の安定性・持続可能性の確保」に関する実施具体策について取り組むことにより、地域に山積する介護・福祉の課題解決を通じて、地域社会に貢献して参ります。

新型コロナウイルス感染防止対策に向けた新しい生活様式により、今まで大切に築いてきた家族や地域とのつながりが制限された日常生活が続くことによる入居者・利用者の不安解消に向けて、全職員の知恵と希望と勇気を結集して引き続き取り組みを進めて参ります。



令和4年度事業計画（基本目標・実施具体策）

【利用者】

基本目標	法人全体
2.1.JAをはじめ様々な福祉ニーズの「担い手」とのつながりを強化します。	2.1.地域包括ケアシステムの多様な担い手との連携 (1)JAをはじめとする地域にある多様な組織(ボランティア、自治会)との連携 ・地域行事、福祉ひろば、公民館活動への参加 ・地域づくりセンター、地区生活支援員、民生委員との連携づくり ・第三者委員・運営委員との情報交換 ・夢あわせの会ゆめの里支部の活動計画作成、実施 ・JA組合員へJA支所だよりを通しての情報提供 ・JA松本ハイランドや今井地域の方々が生産している野菜等を施設の食事で使える仕組み作り ・ボランティア団体や今井地域の方々が生産している野菜等を施設 ・ボランティアの定期慰問、作業ボランティアの受け入れ ・地域交流事業の開催(夏祭りなど) (2)行政・地域包括支援センターとの連携強化 ・行政との情報交換の実施(随時) ・地域包括支援センターと連携、情報共有、勉強会参加 ・地域ケア会議参加 ・信州大学、松本大学や、福祉関係の学生との交流促進 (3)医療機関、他の社会福祉法人、団体等との連携 ・協力医、主治医との連携・情報共有・他法人事業所との意見交換会実施 ・信州大学、松本大学や、福祉関係の学生との交流促進 ・高齢協や経営協の会議等へ参加、情報交換 ・ジェエー長野会施設(うつくしの里)との情報交換会開催 ・地域包括支援センターの職員より地域課題と私たちの役割について研修を開催 (4)ボランティアの育成 ・ふれあい体験の場づくり ・ボランティア体験希望者の受け入れ ・松本社協のボランティアセンターとの連携 ・地域ボランティアとの交流、意見交換会実施
2.2地域における公益的な活動に取り組めます。	2.2公益的な取り組みに向けた地域の多様な主体との連携・協働 (1)社会福祉法人における社会的役割の認識を深める ・社会福祉法人としての社会的役割についての勉強会実施 (2)地域課題解決に向けた公益的活動の実施 ・地域課題の把握(地域住民、地域支援員との懇談等) ・法人内事業所、多職種連携による出張デイスービス、介護予防教室等開催(公民館活動実施) ・移動困難者への買い物支援の継続(JAとの協同活動) ・地域住民に役立つ情報発信(リハビリ、認知症、健康増進等) ・オレンジカフェへの参加、地域サロンの立ち上げ支援・定期的な開催 ・保育園・小学校・中学校への啓発活動の実施 ・施設スペースの開放
2.3認知症についての啓発活動に取り組めます。	2.3認知症啓発活動の推進 (1)地域住民等への啓発、地域との連携強化 ・認知症サポーター養成講座開催 ・認知症サポーター養成講座修了者へのフォローアップ研修開催 ・地域住民へ向けた認知症についての研修会開催 (2)地域に向けた情報誌発行

【地域】

基本目標	法人全体
1.1 利用者が「その人らしく生きる」ための自立支援に取り組めます。	1.1自立支援の取り組みの強化 (1)利用者を支えるための職員の資質向上～機能訓練強化対策～ (2)要支援状態からの自立支援・介護予防・重度化防止対策 (3)多職種連携による生活支援 (4)LIFEの活用・フレイル予防の取り組み
1.2 認知症の支援(取り組み)を強化します。	1.2認知症についての教育強化～専門的な取り組みの強化～ (1)職員の認知症理解促進対策 (2)認知症に関する職員の資格取得の推進
1.3 看取りの支援を強化します。	1.3自分らしい最期を迎えるための取り組み強化 (1)「自分らしい最期」について自己決定を主眼とした学びの場を提供 (2)看取りの支援に対する職員教育の強化(アドバンスケアプランニングACP含む) (3)リビングウィル(事前指示書)の推進・定着強化 (4)グリーフケア
1.4 利用者の満足・家族の安心を得るサービスの提供に努めます	1.4.1利用者本位の支援の実現 (1)個別ケアを重視したケアの提供 (2)職員が相手の思いを組むことができる感性を醸成するための支援強化～相談援助技術の向上～ (3)利用者家族との連絡、連携の強化、ヒヤリハット活用による事故防止 1.4.2利用者の安心・安全の確保を実現 (1)利用者の満足度調査の実施 (2)リスクマネジメント対策 ・事故防止対策の強化 ・苦情解決、相談体制の確立 ・安全対策体制の確立 (3)法令順守マニュアルの点検 (4)感染症対策の強化 (5)身体拘束・虐待防止対策の強化
1.5 サービスの質の向上に向け取り組みます。	1.5.1職員の資質向上を図る (1)質の向上に向けた取り組み～多岐にわたる研修への参加～ (2)法人内職種間交流の強化～職種間レベルの均一化 1.5.2サービスの質の向上対策 (1)サービスの自己評価の実施 (2)第三者評価の受審 (3)サービスの情報公開の適正実施 (4)サービスの質の評価の適正実施

【人財】

基本目標	法人全体
3.1働きやすい職場環境づくりを推進します。 3.2将来を担う福祉人材を育成します。 3.3福祉人材の確保に取り組みます。	3.1.1働きがいのある動きやすい職場環境の整備 (1)各事業所での職場環境改善の取り組み ・各事業所の状況に応じた職場環境改善に対する取り組みを支援 ・労働安全衛生教育の取り組み ・職場環境改善活動(4S活動、危険の「見える化」)の実施 ・職員満足度調査や意向調査実施 ・職場環境改善の好事例の共有化 (2)業務の効率化 ・ICT導入と効果の検証 ・職種・職務別に業務内容の見直し、業務の洗い出し、分担の見直し 3.1.2人材の定着に向けた取り組みの強化 (1)組織風土づくり ・各事業所で実施する人材定着に向けた取り組み支援 ・職員間のコミュニケーション強化 ・職員交流会の実施(歓送迎会、かたり場) ・職場離脱制度(一定期間別の職場へ行く)の検討 (2)福利厚生施策の充実 ・リフレッシュ休暇(有休含む5連休)導入 ・福利厚生費の有効活用(各事業所裁量で使用できるような) (3)多様な働き方の推進 ・柔軟な雇用制度、勤務体制の検討・導入 (4)職員への継続的なフォローアップ ・法人内産業保健スタッフによる定期的な職員面談 ・職員へのキャリア教育・メンター制度の研究 3.1.3職員の安全と健康の確保 (1)メンタルヘルスケアの推進 ・心の健康づくり計画の策定と計画に沿った実施 ・相談窓口の職員への周知徹底 (2)腰痛予防・病氣予防等健康づくり ・職場における腰痛予防体操の取り組み・腰痛予防研修の実施 ・腰痛健康診断の実施・職員の健康管理指導 (3)労働災害防止の取り組み ・労災視察のヒヤリハット報告 ・KYトレーニング研修の開催実施 3.2.1専門的な知識、技術向上の取り組み (1)各事業所での人材育成の取り組み強化 ・外部研修への参加奨励と研究成果の共有 ・内部研修の充実 (2)資格取得の推進 ・計画的な資格取得奨励 (3)新人教育制度の再構築 ・採用後3年未満職員に対する定期的な研修 ・入職後研修の充実 ・新人教育担当者の育成・法人内の標準化 3.2.2総合的な人材マネジメントシステムの構築 (1)人事制度の見直し ・職務基準、等級制度の定期的な見直し ・定期的な評価者研修 (2)体系的な研修プログラムの再構築 ・全職員が経営理念やビジョンを再確認する研修 ・階層別研修 ・実践型、ディスカッションでできる研修企画実施 3.3.1戦略的な採用活動の取り組み強化 ・介護・看護にかかる教育機関への情報発信 ・職員による出身校への働きかけ・派遣 ・SNSを利用した採用活動実施 ・小中高校における福祉教育への積極的な協力 ・実習生の受け入れを積極的実施 (介護福祉士・社会福祉士・ボランティア・介護支援専門員・在宅看護実習生等) 3.3.2法人のブランド力強化 ・法人の理念の実現に向けた各事業所の特色の取り組みと情報発信 3.3.3多様な人材を確保し活躍してもらええる仕組みづくり ・職員の働き方を考慮した配置 ・多様な人材、多様な働き方を支援する体制づくり ・外国人人材確保に向けた研究 ・障害者の法定雇用率確保と障害者活用研究

【経営】

基本目標	法人全体
4.1法令遵守(コンプライアンス)の確保とガバナンスの強化に取り組みます。 4.2健全な財務規律の確立に取り組みます。 4.3技術革新を通じた労働生産性の改善に取り組みます。 4.4信頼を得るための情報発信の強化に取り組みます。 4.5災害・非常時への対応を強化します。 4.6長期的視野に立った事業展開を検討します。	4.1.1コンプライアンスの徹底・強化 ・コンプライアンスチェックの実施・検証によるコンプライアンス体制の確立 ・内部通報制度の周知 ・諸規程、マニュアルの見直し・整備 4.1.2ガバナンス(組織統治)の強化 ・機能強化に向けた体制整備 ・内部統制の確立 ・第三者委員会、運営推進会議等の機能発揮 ・会計監査人設置に向けた検討 4.2.1収支改善に向けた取り組みの強化 ・定期的な部署別(職種別、形態別)収支改善会議の開催(法人内横断的な収支改善検討会議) ・長期的な視野に立った修繕・改修・更新計画の策定 ・各種助成金の活用 ・収支改善に向けた奨励制度の検討 ・外部コンサルタントによる経営指導 ・管理会計の徹底(各種月別経営分析の実施、財務状況の把握) ・予算管理の徹底(月次予算差異分析の実施) 4.3.1ICT(情報通信技術)システム、AI(人工知能)、ロボット等を活用した介護現場の効率化、業務改善 ・各部署選出のプロジェクトメンバーによるICT等を導入した業務改善の研究(夜勤業務の軽減、介護職の高齢化、利用者の重度化に向けた業務内容の検討など) ・導入時のサポート支援体制の強化 4.4.1対外広報の取組強化 ・JA「支所だより」を通じた福祉・介護情報の発信 ・SNSなど新たな情報発信ツールの活用による積極的な広報(施設案内、求人などを目的) ・双方向で情報交換できる仕組みの検討(主に求人関係) ・ホームページの適正な運営管理・情報発信 ・より充実した紙面構成による広報誌「ゆめだより」の発行 4.5.1災害・非常時への対策・体制の整備 ・BCPに基づく定期的な訓練(災害・感染症発生等の非常時対応、災害時における自家発電装置の稼働内容点検含む) ・災害発生時に向けた法人内連携、他法人との連携策の検討 ・職員安否確認システムの活用 ・行政、他法人、地域との災害福祉支援ネットワークづくり 4.6.1事業の見直しと新規事業の検討 ・外部コンサルタントを含めた検討(既存事業、新規事業について) ・施設修繕計画の策定 4.6.2ジェニー長野会との組織のあり方検討 ・人材確保、育成に向けた連携 4.6.3JAF福祉事業とのあり方検討 ・事業統合を視野に入れた研究会開催(R6.2～3目途) ・人事交流 4.6.4次期介護報酬改定に向けた検討 ・2024年介護報酬改定に対応

令和4年度固定資産取得・修繕計画

単位：千円

年度／事業所	法人本部			特養和田			特養朝日			特養今井			松風園		
	項目	金額	個数	項目	金額	個数	項目	金額	個数	項目	金額	個数	項目	金額	個数
R4	パソコン	300	2	天井走行リフト	1,300	1	5丁目ガレージ工事	7,500	1	複合機	500	1	カラー複合機	440	1
	MJSLINK DX	7,170	1	走行用リフト	400	1	ベッド	3,680	15	厨房用冷蔵庫	421	1	ガス・マンリイセンス	2,302	
	SKYSEA	2,200	1	厨房ガスコンロ	680	1	ショート送迎車庫(新規)	1,500	1	町会冷蔵庫	164	1			
	楽々精算	300	1	厨房ローコンロ	160	1	照明LED化	400		エアコン(居室用)更新	1,720	10			
				厨房消毒保安庫	770	1	高圧電気機器更新	7,416		バック・アップエアコン	800				
				空気清浄機	360	3	駐車場外灯設置	700		室外機修理	1,287				
				チャイルドリフト・車椅子	330	3	ガス・マンリイセンス	1,638		ガス・マンリイセンス	2,207				
				長期用超音波・赤外線コーラー	130	1									
R4合計		9,970						26,964			7,231			2,802	640

年度／事業所	入山辺			和田デイ			新村宅幼老所			朝日宅老			訪問看護			ヘルパー		
	項目	金額	個数	項目	金額	個数	項目	金額	個数	項目	金額	個数	項目	金額	個数	項目	金額	個数
R4	ノートパソコン	130	1	高圧電気機器更新	552	1	冷蔵庫	100	1	送迎車両(更新)	2,000	1	訪問用車両(新規)	800	1	訪問車両(更新)	1,000	
				ガス・マンリイセンス	673	1	浴室出入口	500	1	ガス・マンリイセンス	213		ワイズマン すぐろくホーム	982		ガス・マンリイセンス	1,395	
							ガス・マンリイセンス	629					事務所内水道蛇口	300	1			
													高圧電気機器更新	32				
													ガス・マンリイセンス	1,133				
R4合計		130			1,225			1,229			2,213			3,247			2,395	

年度／事業所	和田福祉相談センター			今井福祉相談センター			河西部西包括			太陽光		
	項目	金額	個数	項目	金額	個数	項目	金額	個数	項目	金額	個数
R4	コピー機	600	1	ガス・マンリイセンス	2,690							
	ガス・マンリイセンス	2,806										
	ワイズマン すぐろくケア	220										
R4合計		3,626			2,690			0				0

	総合計
R4	64,362

令和4年度 収支予算書 (補正予算対比、簡易版)

(千円未満端数処理により、合計が合わないことがあります。)

単位：千円

勘定科目	R4予算 合計	R3予算 合計	R4-R3	R3 対比
事業活動収入計	1,462,008	1,455,595	6,413	100.4%
人件費支出	985,930	983,571	2,359	100.2%
事業費支出	197,181	187,602	9,579	105.1%
事務費支出	217,336	220,038	△ 2,702	98.8%
事業活動支出計	1,401,743	1,392,816	8,927	100.6%
事業活動資金収支差額	60,265	62,779	△ 2,514	96.0%
施設整備等収入計	0	3,770	△ 3,770	0.0%
施設整備等支出計	71,942	49,321	22,621	145.9%
施設整備等資金収支差額	△ 71,942	△ 45,551	△ 26,391	157.9%
その他の活動収入計	27,074	22,862	4,212	118.4%
その他の活動支出計	27,074	22,862	4,212	118.4%
その他の活動資金収支差額	0	0	0	
当期資金収支差額合計	△ 12,177	17,228	△ 29,405	△ 70.7%

勘定科目	本部	和田 特養	和田 シヨート	和田 特養+S	朝日 特養	朝日 シヨート	朝日 特養+S	今井 特養	今井 シヨート	今井 特養+S
事業活動収入計	0	344,353	18,466	362,819	145,661	11,904	157,565	155,451	21,878	177,329
人件費支出	4,264	223,929	11,804	235,733	105,903	10,454	116,356	103,894	16,905	120,799
事業費支出	0	55,952	3,002	58,955	20,113	1,944	22,057	19,959	3,145	23,104
事務費支出	614	48,038	2,496	50,534	21,991	1,371	23,363	21,261	2,935	24,197
事業活動支出計	4,878	328,836	17,303	346,139	148,007	13,769	161,776	145,430	22,985	168,415
事業活動資金収支差額	△ 4,878	15,517	1,163	16,680	△ 2,346	△ 1,864	△ 4,210	10,021	△ 1,108	8,913
施設整備等収入計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等支出計	9,970	29,132	50	29,182	7,231	0	7,231	7,802	0	7,802
施設整備等資金収支差額	△ 9,970	△ 29,132	△ 50	△ 29,182	△ 7,231	0	△ 7,231	△ 7,802	0	△ 7,802
その他の活動収入計	14,848	10,000	0	10,000	0	0	0	0	0	0
その他の活動支出計	0	3,206	178	3,384	1,455	134	1,589	6,485	238	6,723
その他の活動資金収支差額	14,848	6,794	△ 178	6,616	△ 1,455	△ 134	△ 1,589	△ 6,485	△ 238	△ 6,723
当期資金収支差額合計	0	△ 7,321	935	△ 6,386	△ 11,032	△ 1,998	△ 13,030	△ 4,266	△ 1,346	△ 5,612

勘定科目	入山辺	松風園	和田デイ	新村 宅老所	朝日 宅老所	訪問看護	ヘルパー	和田福相	今井福相	河西部西 地域包括	朝日太陽光
事業活動収入計	89,444	280,233	79,857	30,992	32,752	43,565	91,366	54,407	23,505	36,360	1,813
人件費支出	72,184	136,813	60,485	27,180	24,394	36,401	62,270	44,315	21,664	23,072	0
事業費支出	10,333	60,986	9,427	3,538	3,809	1,108	1,601	1,314	348	581	21
事務費支出	5,814	70,805	6,676	2,535	2,503	2,215	8,086	3,544	1,868	14,517	66
事業活動支出計	88,331	268,604	76,651	33,254	30,705	39,724	71,957	49,172	23,880	38,170	87
事業活動資金収支差額	1,113	11,629	3,206	△ 2,262	2,047	3,841	19,410	5,235	△ 376	△ 1,810	1,726
施設整備等収入計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等支出計	130	640	1,587	1,229	2,213	3,247	2,395	3,626	2,690	0	0
施設整備等資金収支差額	△ 130	△ 640	△ 1,587	△ 1,229	△ 2,213	△ 3,247	△ 2,395	△ 3,626	△ 2,690	0	0
その他の活動収入計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,226	0
その他の活動支出計	6,039	2,435	921	490	460	490	3,176	624	327	416	0
その他の活動資金収支差額	△ 6,039	△ 2,435	△ 921	△ 490	△ 460	△ 490	△ 3,176	△ 624	△ 327	1,810	0
当期資金収支差額合計	△ 5,056	8,554	698	△ 3,981	△ 626	104	13,839	985	△ 3,393	0	1,726